

皆さんお元気ですか？ 日本でもまん延防止等重点措置が全面解除されたようですが、ここイギリスでは、2月21日からコロナに関する全ての規制や措置がなくなりました。だからたとえコロナになろうが、隔離や自宅待機する義務がなくなり、自分の意思で出勤してもかまわないのです。分かりやすく言えば、コロナで体調が悪くても、出かけることに何の制限もなくなったということです。完全にアフターコロナ、ウィズコロナになりました…。

英国政府の方針に従い、ロンドン日本人学校では、3月11日に行われた小学部・中学部合同卒業式では、歌や呼びかけはもちろんノーマスクですし、式の最中も自分で判断してマスクをするということで行いました。会場には小5と小6、中2と中3、保護者や来賓、職員などで、300人以上がいましたが、卒業生や在校生、職員は、誰も式の最中マスクをしませんでした。喚気に特に気を付けていたわけでもなく、閉鎖空間で、以前のような「ふつう」の式が行われたのです。式中、素の顔、表情が見られ、担任としては感動的でしたが…。

日本の皆さんからすると、「えっ？」と驚かれるかもしれませんが、それがイギリスの「今」です。既にスーパーなどの店内も地下鉄などの車内もマスク着用の義務はなく、本当に誰もマスクをしていません。だからといって陽性者がいないかというところではありません。しかし、以前のように感染経路を追跡することや濃厚接触者を隔離することなどは、全くありません。卒業証書授与 →



ところが日本への帰国者の中には、厳格な日本のコロナ政策により、とんだとばかりを受けている人もいます。イギリスでは

中学部、日本からのオンライン参加卒業生

何も制限がないのですが、日本入国の際は陰性証明が必要です。こちらで陰性だったのに、搭乗中に発症した場合、飛行機の前後2列ずつ、合わせて5列の人が隔離されるのだそうです。せっかく日本も隔離がなくなったと喜んでいただけなのに、すぐに家に帰ることができないと嘆いている知人もいます。

おまけに今はウクライナ情勢の関係で、ロシア上空を飛ばないので、JALは北極回り、ANAは南回りで飛んでいるので、今までより3時間以上長い

16時間！も飛行機に乗っているのだそうです。疲れますよね…。しかもANAは現在運休中なので、JALが満席だそうです。一人コロナが怪しい人がいたら、みんなたいへんなことになりますね…。ただJALは北極回りなので、途中でオーロラが見えることもあるそうです。それぐらいいいことがないと、やってられませんね。

早いもので、もうロンドンに来て1年が経とうとしています。住んでみて分かったのですが、ロンドンは、物価が高いのと寒いのを除けば、とてもいいところです。人々は優しく温かく、とても親切にしてくれます。それは、多民族が一緒に暮らしているからでしょうか？



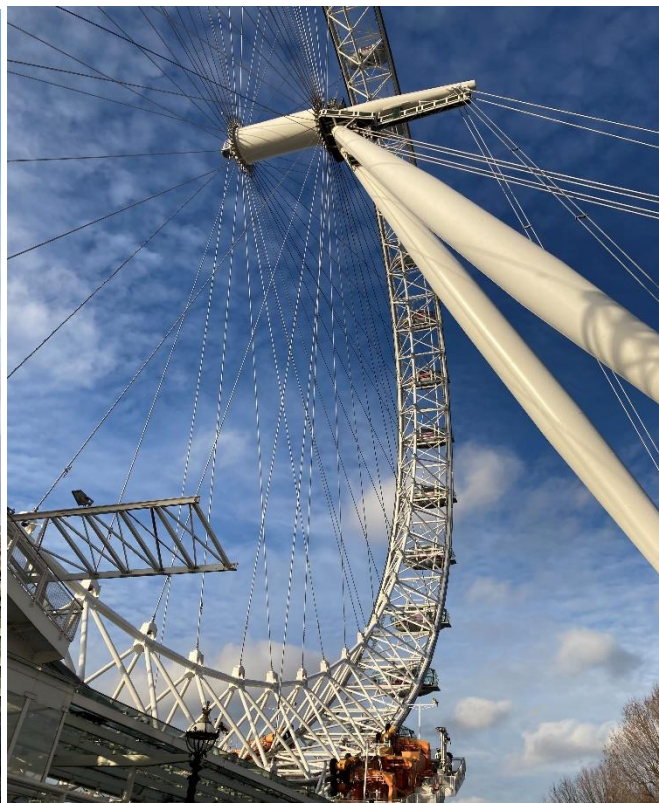
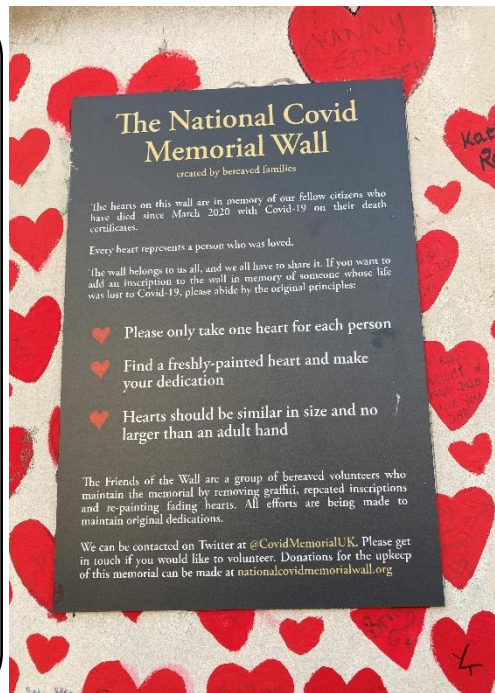
我が家からすぐの商店街には、インド人のレストラン、イタリア人のカフェ、イラン人の床屋、中国人の薬局、トルコ人の八百屋、パキスタン人のコンビニ、イギリス人のパブというように、様々な国にルーツをもつ人たちが店を構えています。そこに出かける日本人の私。もう慣れました、冗談を言い合ったりサッカーの話をしたりの日常に。それも楽しいです！

こちらに来て思ったのは、霧雨や曇りの日が多いので、晴れの日が本当に嬉しいことです。こちらの人たちはそんな日は、たとえ1月でも半袖になり、太陽の光を浴びようとしています。それぐらい太陽がなく、寒いからなのでしょう。私も1年中、長袖を着ていましたし、夏にダウンを着ていたこともありました。そして「衣替え」という概念がなくなりました。



テムズ川沿いには、コロナの犠牲者名を書いたハートが、500mほど続いています。

今年の頃は多くの犠牲者を出し、街はロックダウンされて、人々は息をひそめていたそうです。イギリスは、本当に苦しかったようです。



シモクレンやアーモンドチェリーの花が見事に咲いている早春のロンドン。私を受け入れてくれてありがとう。そんな気持ちで一杯です。I LOVE LONDON and INUYAMA !